



取扱説明書

※ブーツ交換前に必ずお読み下さい。

自動車用 ドライブシャフト アウターブーツ



⚠ 使用上の注意

- ① グリスはベアリング部へのみに塗布する程度とし、ブーツ内への補充は絶対に止めて下さい。又グリスは入れ過ぎないで下さい。尚、グリスは付属のものを使用して下さい。
- ② 接合部（凹凸部）は絶対に変形させないで下さい。内部の特殊スプリングに支障をきたし、十分な接合が得られない事があります。
- ③ 潤滑シール剤は凸部（♂部）を挿入しやすくするもので、接着剤ではありません。必ず付属の潤滑シール剤を使用して下さい。また、硬化した潤滑シール剤は使用しないで下さい。
- ④ バンドは、接合部から半回転裏側でロックし、そのバンド折返し方向は、車両前進時のドライブ・シャフトの回転方向と反対となるようにセットして下さい。ロックング・グリップは、たたいて止めて下さい。
- ⑤ バンドは付属の専用バンドを使用して下さい。
- ⑥ スピージーは、整備工場で整備士が必ず取り付けを行って下さい。
- ⑦ この取扱説明書は標準的な取り付け方を記載しておりますので、車種によっては取り付け方を工夫して行って下さい。
- ⑧ 適合車種を確認の上、正しい品番のものを正しく使用して下さい。一般車から、タクシー車および教習車に改造した車輛には絶対使用しないで下さい。
- ⑨ ブーツ及びブーツバンドが組付け後、干渉している場合は部品選定エラーか、車輛の改造などが考えられるため再確認して下さい。干渉している場合は絶対に走行しないで下さい。

スピージーのセット内容

1. スピージー……………1個
(ドライブシャフト・アウターブーツ)
2. ワンタッチブーツ・バンド（大）…1本
3. ワンタッチブーツ・バンド（小）…1本
4. 潤滑シール剤（2g）……………1個
5. グリス（60g）……………1個

※予告なくセット内容を変更することがあります。

発売元

三井物産株式会社
中部支社

〒450-91 名古屋市中村区名駅南一丁目16番21号
TEL 052-584-2626 FAX 052-584-2643

製造元

株式会社 徳重

〒450 愛知県名古屋市中村区名駅南1-17-29
広小路ESビル9F

1. 交換するブーツの取り外し

- ① ブーツバンドをニッパ・プライヤー等で切断し取り外します。
- ② ブーツ本体をカッター・ハサミ等で切断し取り外します。



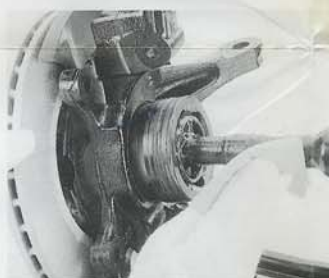
※注意：● ドライブシャフト周辺が熱いときの作業は危険ですので、ドライブシャフト周辺が冷めてから作業を行ってください。

- ブーツ交換が終了するまで、必ず作業手袋を使用して下さい。
- 交換ブーツの取付け位置を間違えないように、シャフト側のブーツ取付け位置を確認しておいて下さい。

●ポイント：● タイヤを外すと、より簡単にスピージーの交換ができます。

2. ベアリングの点検

- ① シャフト・ハウジング部のグリスをウエス等で拭き取ってから、ベアリング部を点検して下さい。
- ② 異常がなければベアリング部に残っているグリスを点検して下さい。

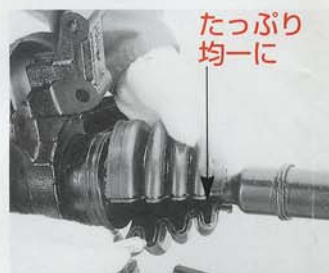


※注意：● ベアリング部にガタつき・異音等の異常がある場合は分解整備もしくは交換をして下さい。

3. 潤滑シール剤塗布

- ① 接合部分にグリスが付着しない様に、スピージーブーツをシャフトにかぶせます。
- ② かぶせた後、凹部の溝に付属の潤滑シール剤をたっぷり均一塗り、速やかに次の接合作業に取り掛かって下さい。

※参考：● この潤滑シール剤は凸部を挿入易くするもので、接着の為のものではなく、接合部のシール性を高めるものです。



※注意：● 万一接合部分にグリスが付着した場合、十分拭取って下さい。

- 付属の潤滑シール剤以外は絶対に使用しないで下さい。
- この作業時、ブーツの溝（凹部接合部）が広がらない様、注意して下さい。

結合力が十分に得られなくなります。



4. スピージー接合－1

- ① 潤滑シール剤塗布後、速やかにハウジング側（大径側）から順に凸部を凹部にしっかり差し込みます。
- ② 2分の1程度まで接合したら、スピージーをハウジング側にスライドさせ残りの部分を差し込みます。

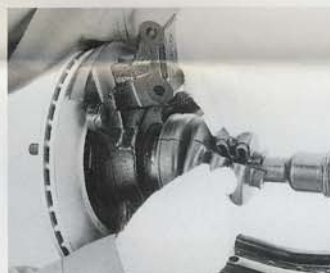


●ポイント：● 接合しずらい場合は無理に押し込まず、再度潤滑シール剤を塗布して下さい。

接合部を平行にすれば簡単に入ります。

5. スピージー接合－2

- ① 取り外した時に確認した所定の位置にスピージーのシャフト側接合部をセットし、シャフト側の接合部をはめ込んで下さい。



- ② 接合部のはめ込みが終わりましたら、塗って溢れた潤滑シール剤をウエス等できれいに拭取って下さい。



●ポイント：● シャフト側の接合部が所定の位置にない場合、挿入しずらくなります。その場合は無理に押し込まず、再度潤滑シール剤を塗布し、所定の位置にセットしてから挿入作業を行ってください。

※注意：● 取り外した時に確認した所定の位置に必ず取付けて下さい。

- 挿入後、接合部が確実に接合されているか必ずチェックして下さい。
- 接合作業はなるべく速やかに行ってください。途中で作業を中断すると、十分なシール性が得られない事があります。

6. 小径バンドの組付け

① 小径バンドの折り返しが車両前進時のドライブシャフトの回転方向と反対向きになるように、又ロック部がスピージャー接合部から半回転裏側にあるようにセットして下さい。



② 厚いR部の先端のツメをバンドの穴に引っ掛け、R部の根元から端へ押すようにR部を折り返します。



③ ロッキングクリップはマイナスドライバー等で折り、ハンマー等でたたいて固定します。

※注意：● バンドが所定の取付け位置にセットされているか確認して下さい。
● バンドの組付け時は、保護の為、必ず作業手袋を使用して下さい。

7. グリスの補充

① ハウジング部からスピージャーをはずして、ベアリング部にグリスを補充し、ベアリング部全体にグリスを塗り込みます。



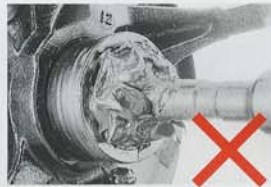
② 補充が終わりましたら、ハウジング部にブーツをセットして下さい。

●ポイント：● グリスの注入口をベアリングに当て、ベアリング内に押し込むように注入して下さい。ベアリングへのグリス補充は、ベアリングに残っているグリスの量に応じて適量注入して下さい。

※注意：● ベアリング部にのみグリスは適量補充し、ブーツ内には絶対に補充しない様にして下さい。入れ過ぎるとブーツ膨張の原因となる事があります。

* 適量

* 入れ過ぎ



8. 大径バンドの組付け

① 大径バンドの折り返しが車両前進時のドライブシャフトの回転方向と反対向きになるように、又ロック部がスピージャー接合部から半回転裏側にあるようにセットして下さい。



② 厚いR部の先端のツメをバンドの穴に引っ掛け、R部の根元から端へ押すようにR部を折り返します。

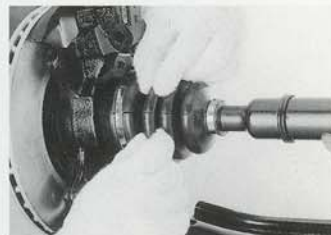
③ ロッキングクリップはマイナスドライバー等で折り、ハンマー等でたたいて固定します。

※注意：● バンドが所定の取付け位置にセットされているか確認して下さい。
● バンドの組付け時は、保護の為、必ず作業手袋を使用して下さい。

9. 確認

—この確認は非常に大切です。必ず行って下さい。—

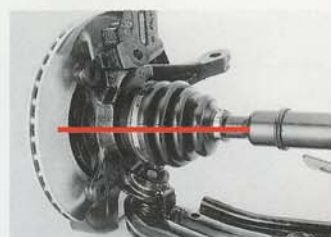
① 接合部を軽く引っ張って、確実に接合されているか確認して下さい。



② 接合部をつまんで、特に谷側が確実に接合されているか確認して下さい。



③ 接合部が直線になっているか（スピージャーのねじれがないか）、ブーツバンドが溝にきちんとはまっているか、目視にて確認して下さい。



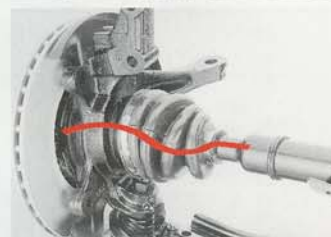
④ シャフトを回転させて、ブーツ及びブーツバンドが車体側と干渉しないか確認して下さい。（前輪外側の場合、ハンドルを最大に切った状態で確認して下さい。）

10. 悪い例

① ブーツバンドが溝にきちんとはまっていない。



② 接合部が直線になっていない。



11. 終了

裏側の注意事項もよくお読み下さい。



この取扱説明書に記載されている取り付け方は、標準的な取り付け方です。

車種によっては取り付け方を工夫して行って下さい。

●ブーツ



用途：

自動車ドライブシャフト・
アウターブーツ

⚠ 警告

- ① 本スピージャーはクロロブレン・ゴム (CR) を材質としています。焼却すると有毒ガスを発生します。

⚠ 使用上の注意

- ① 自動車用ドライブシャフト・アウターブーツ以外には使用しないで下さい。
- ② 子供の手の届かない所に置いて下さい。

廃棄処理

- ① 廃棄する時は必ず産業廃棄物として処理して下さい。

保管方法

- ① 直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管して下さい。
- ② 火気のない所に保管して下さい。

●潤滑シール剤



用途：

スピージャー（ドライブシャフト・アウターブーツ）接合部組み付け専用組付剤（潤滑シール剤）

⚠ 警告

- ① 消防法の危険物第4種第3石油類（危険等級III）に該当するので、火気のある場所では使用しないで下さい。
- ② 刺激臭があるので、長時間使用したり、大量に使用する場合は、換気に十分注意して下さい。

⚠ 使用上の注意

- ① 皮膚を瞬間的に接着することがありますので、皮膚に付けない様に使用して下さい。
- ② 作業に当たっては、目に入らない様に保護眼鏡等を着用することが望ましいです。
- ③ 布、皮などの手袋や着衣などに多量に付着した場合、急激に発熱して火傷することがあるので注意して下さい。
- ④ 火気厳禁ですので、火気のある場所では使用しないで下さい。
- ⑤ 刺激臭がありますので、換気に十分注意して使用して下さい。
- ⑥ 子供の手の届かない所に置いて下さい。
- ⑦ 食べないで下さい。（食用不可）
- ⑧ スピージャー接合部の、組み付け時以外には使用しないで下さい。
- ⑨ 硬化したものは、使用しないで下さい。

応急処置

- ① 手に付着した場合は、すぐお湯の中でゆっくりもみほぐしながらはがすか、アセトンを使用して下さい。
- ② 目に入った時はすぐ洗眼し医師の診断を受けて下さい。無理にはがしたり、目をこすったりしないで下さい。
- ③ 食用不可。飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けて下さい。

廃棄処理

- ① 廃棄する時は容器を密封して、産業廃棄物として処理して下さい。

保管方法

- ① 直射日光、湿気、ならびに塩基性物質（硬化促進剤、アミン等）を避けて保管して下さい。
- ② 火気のない所に保管して下さい。

●バンド



用途：

スピージャー（ドライブシャフト・アウターブーツ）取り付け専用ブーツバンド

⚠ 使用上の注意

- ① バンドを組み付ける時は必ず保護手袋を使用して、手などを切らないように注意して下さい。
- ② バンドをつぶしたり、変形したもの等は使用しないで下さい。
- ③ バンドを取り付ける前は、必ず取り扱い説明書をよく読んでご使用下さい。
- ④ 子供の手の届かない所に置いて下さい。
- ⑤ スピージャー取り付け以外には使用しないで下さい。
- ⑥ バンドが外れた場合は、再使用しないで新しいバンドを使用して下さい。
- ⑦ バンドを取り付ける時は、スピージャーにキズ付けない様にして下さい。また、バンドのロックングクリップはよく叩いて止め、走行中に外れない様にして下さい。

応急処置

- ① 手などをあやまって切った場合は、傷口をよく消毒して医師の診断を受けて下さい。

廃棄処理

- ① 廃棄する時は産業廃棄物として処理して下さい。

保管方法

- ① 直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管して下さい。

●グリス



用途：

等速ジョイント・ベアリング専用グリス

⚠ 警告

- ① 本グリスには低精製度潤滑油が含まれています。IARC（国際がん研究機構）によって人に対して発がん性のあることが報告されている低精製度潤滑油が含まれています。取り扱う際は皮膚に触れないようにして下さい。
- ② 本グリスには鉛化合物が含まれています。EC理事会指令において、鉛化合物は蓄積影響の危険性、胎児に有毒である恐れがあることが報告されています。取り扱う際は皮膚に触れないようにして下さい。

⚠ 使用上の注意

- ① 目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護眼鏡を使用する等目に入らないようにして下さい。
- ② 皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護手袋を使用して皮膚に触れないようにして下さい。
- ③ 食べないで下さい。（食べると下痢、嘔吐します）
- ④ 子供の手の届かない所に置いて下さい。

応急処置

- ① 目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- ② 皮膚に触れた場合は、水と石鹸で十分に洗って下さい。
- ③ 飲込んだ場合は無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けて下さい。

廃油・廃容器処理

- ① 廃棄する時は産業廃棄物として処理して下さい。

保管方法

- ① ゴミ、水分等の混入防止の為使用後は密栓して下さい。
- ② 直射日光を避け、暗所に保管して下さい。